

【緑区】令和 8 年 第 1 回 区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日	令和 8 年 2 月 17 日 (火) 【書面開催】
議 題	1 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 予算案
発 言 の 要 旨	<p>議題 1 令和 8 年度 個性ある区づくり推進費 予算案</p> <p>【 1 災害に強いまちづくり事業】 斉藤議員：外国人要援護者に向けた減災啓発支援事業について、令和 8 年度はどのような取り組みをするのか。 総務課：令和 8 年度も NPO 法人霧が丘ぷらっとほ一む等との連携・協力により、外国人（要援護者）に向けた取り組みを続けてまいります。</p> <p>【 3 交通安全対策事業】 越久田議員：自転車の罰則が強化されるが、区として啓発の工夫はしているのか。また、「子育て世代」への啓発状況はどうか。 地域振興課：自転車への反則金制度が開始されることについては、広報よこはま 4 月号で区民へ周知いたします。また、新たなリーフレットを作成し、引き続き、警察等関係機関と連携しながら注意喚起を行います。 「子育て世代」への啓発については、区内保育教育施設を通じ、保護者に自転車の交通ルール等を記載したチラシを配布し注意喚起するとともに、秋の交通安全運動では警察・交通安全協会等と連携し、多くの親子連れが集まる祝日の大型商業施設で啓発を実施しました。</p> <p>【 4 暮らしの衛生推進事業】 斉藤議員：薬と健康の啓発事業に関し、以前、薬物乱用防止に取り組む団体の連携促進のため、連絡会議開催を要望したが、実施するのか。 生活衛生課：薬物乱用防止には、教育・保護更生・衛生など各分野の団体が、それぞれの活動を通じて啓発を行っており、今後もこれら活動団体の意見を伺いながら、必要に応じて連携のあり方を検討してまいります。 斉藤議員：地域防災拠点でのペット同行避難やスターターキット講習は、緑区内のどの拠点で実施するのか。</p>

生活衛生課：令和7年度の訓練では、一時飼育場所の設置等、ペット同行避難を想定した訓練を5拠点（山下小、森の台小、長津田小、三保小、緑小）で実施し、また、参加者向けの同行避難説明やスターキット講習を1拠点（鴨居中）で実施しました。8年度も、拠点運営委員会連絡協議会や拠点参与を通じて、各拠点にペット関連メニューの実施を呼びかけてまいります。

越久田議員：昨年実施の同行避難に関する講演会は参加者が少なく、内容が良かっただけにもったいなかった。広報を強化し、参加者全員でHUG（避難所運営ゲーム）訓練を行うなど、広がりのある内容が必要ではないか。広報が遅れた理由や今後の展望があれば教えてほしい。

生活衛生課：令和8年度もHUG訓練を取り入れた講演会を9月頃に開催する計画です。今回は開催時期に合わせて9月から広報を開始しましたが、今回はより多くの区民の方にご案内できるよう、ペット防災対策事業の一環として早い時期から機会を捉えて周知します。

越久田議員：ペット防災手帳は、どこでどの程度配布されているのか。また、動物病院への配布状況はどうか。犬以外のペットの飼い主への啓発も重要と考えている。

生活衛生課：令和7年度は、区役所での登録手続き時やイベント時に約300部、獣医師会会員病院で約400部（8病院×50部）を配布しました。今後も区役所での配布に加え、動物病院の協力を得ながら、犬以外のペットの飼い主にも届くよう啓発を進めてまいります。

越久田議員：ペット防災手帳の内容は、市の災害マニュアルに合わせて在宅避難を選択できるよう改訂が必要ではないか。既存在庫が多いのであれば、挟み込みページ追加など工夫して活用してほしい。

生活衛生課：「ペット安心手帳」は、医療局が2月に改訂した「災害時のペット対策ガイドライン」の内容を踏まえながら、在庫分へのページ追加や次回改訂時の内容を検討していきます。

【12 高齢者生きがい推進事業】

斉藤議員：高齢者の社会参加や交流につながる「緑区健康麻雀大会」は区役所が企画するのか。

高齢・障害支援課：健康麻雀については、緑区老人クラブ連合会（区老連）

が、区内全域を対象に健康麻雀交流会を実施しています。
また、「緑区健康麻雀大会」については、区老連が開催する大会
に対し、緑区役所として支援・連携し、共催として実施できる
よう調整を進めています。

【17 みどり地域まちづくり推進事業】

齊藤議員：山下地域交流センターの活用検討について、地域は活用を強く
希望している。今後の見込みやスケジュールはどうか。

区政推進課：スケジュールの調整はこれからになりますが、地域の皆様の
意向を踏まえながら、山下地域交流センターの民間活用に向けた
検討を関係局と連携して進めてまいります。

【18 みどりでみつける緑区魅力発信事業】

齊藤議員：GREEN×EXPO 2027 を契機とした緑区の魅力発信とは具体的に何
を行うのか。また、EXPO グッズを緑区役所でも販売してほしい。

区政推進課：より多くの方に緑区の魅力を知っていただけるよう、EXPO 応
援イベントや区民まつり等の機会を捉え、「みどりでさがそ～緑
区ウェルカムガイド～」を活用し、魅力発信に取り組んでいます。

また、グッズ販売については、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局よ
り、「市民の皆様が日常的に利用する区役所で、各種グッズを購
入できる環境を整えることで、EXPO の更なる盛り上げにつな
がるものとする」「一方で、商品取扱い事業者における販売ス
ペースの確保や収益の見込みなど、運用面で整理すべき課題が
ある」と聞いています。

こうした点を踏まえ、局と連携しながら、事業者とともに検
討を続けていきます。

【24 緑区商店街振興事業】

齊藤議員：十日市場駅周辺には商店街協同組合や商店会などの団体はない
が、地元商店がグループ形成に関心を持っている。区役所とし
て支援できないか。

地域振興課：区役所は区商店街連合会へ支援をしておりますが、個別店舗
及びご質問にある商店街とは異なる店舗・グループ等への支援
制度はございません。商店街を立ち上げたいというご要望であ
れば経済局が相談窓口となります。

	<p>【27 市民活動パワーアップ支援事業】</p> <p>越久田議員：自治会への ICT ツール導入支援だけでなく、自治会同士が意見交換できるセミナーや研修会開催も重要ではないか。今後の開催見込みはあるか。</p> <p>地域振興課：セミナーや研修会の開催予定はありませんが、支援自治会から ICT 化の効果について各連合定例会で報告できるようサポートし、他自治会への波及を促します。</p> <p>また、市ウェブページで好事例の紹介をしておりますので、区連会等の場を通じて周知を図ってまいります。</p> <p>越久田議員：市民局主導のポータルサイト「よこむすび」が全区展開されるが、区ではどのように区民をサポートするのか。有効活用できるよう取り組んでほしい。</p> <p>地域振興課：地域で活動されている各種団体の会議に参加するなど、丁寧に説明を行うほか、登録した後も継続して相談等支援してまいります。また、サイトが広く区民の方に活用されるよう、積極的に広報を行います。</p>
備 考	<p>基準日までいただいた御意見・御質問等について、緑区役所として御回答させていただきました。</p>